

図書だより

田野中学校

第1号

2024年7月

夏休みの特別貸出がはじまりました！

期間 7月8日(月)から9月6日(金)まで、
冊数 ひとし3冊まで借りられます。

期間中は借り換えも可能です。

お知らせ

借りたままになっている本はありませんか？

図書室の本はみんなの本です。貸出期間は1週間です。夏休み中に蔵書点検を行います。
1学期に借りた本は夏休みに入る前に必ず返しましょう。

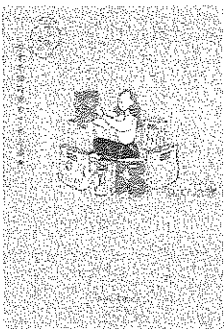
第70回青少年読書感想文全国コンクール課題図書を紹介します。



『希望のひとしずく』キース・カラブレーゼ 著

アーネストは、おじいちゃんの遺言を守るため、屋根裏部屋の整理を始めた。同じころ、古い井戸がいきなり願いをかなえてくれるようになった。理由を知っているのはアーネスト、ライアン、リジーの三人だけ。言い伝えと祖父の遺言が人々をつなぎ、希望を紡ぐ物語。

給食で出る「スラッピージョー」が出てくる場面があるよ。



『アフリカで、バッグの会社はじめました』江口 絵里 著

アフリカの貧困問題を解決し、女性を輝かせたい—自分の本当の夢を追いつける社会起業家 仲本千津さんのドキュメンタリーです。「かわいそうだから買ってあげる」のではなく「このバッグ欲しい！」と思えるような商品を作り販売することで、仲本さんはアフリカの女性の貧困に向き合い、継続的な支援を行っています。

「RICCI EVERYDAY(リッチー エブリティ)」を検索してみよう。



『/グッドウライオウ:靴の往来堂』佐藤 まどか 著

シューズデザイナーになりたい夏希の目にはフルオーダーメイドシューズのマエストロである祖父の作る靴は地味で、どれも似たり寄ったりに見えるのです。そんなある日、祖父の店「往来堂」の常連さんに緊急事態発生。28センチのウエディングシューズのリフォームを祖父と二人の共同作業で見事にクリアするのでした。

温故知新、靴がつなぐ人と人との温かい物語。

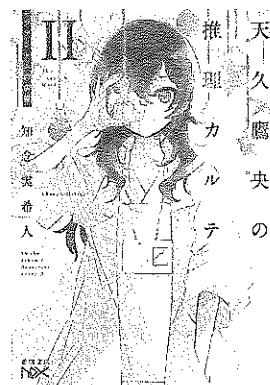
『税金で買った本11』は、課題図書について書かれています。

1学期に新しく入った本を紹介します。



「ウルド昆虫記 バッタを倒しにアフリカへ」 前野ウルド浩太郎 著
サバクトビバッタの研究者である前野先生は、モーリタニアで「ウルド（〇〇の子孫）」というミドルネームを頂戴する。研究の内容だけでなく、アフリカ モーリタニアの人々や生活習慣、ハリネズミなどのかわいい生き物の写真など満載の一冊。

新書版にはなかった恋愛と、砂漠のトイレ事情の話が増えていました。

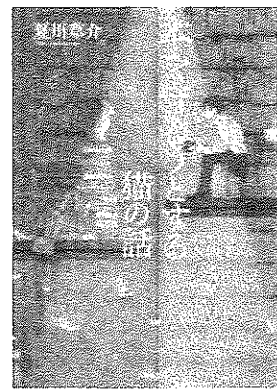


「天久鷹央の推理カルテII〜V」 知念 実希人 著

その病気(ナリ)、命にかかわるぞ…?

問題患者の巣窟たる統括診断部には、今日も今日とて不思議な症例が舞い込んでくる。だが、荒唐無稽な事件の裏側、その“真犯人”は思いもよらぬ病気で……。

破天荒な天才女医・天久鷹央(あめくたかお)が“診断”で解決する新感覚メディカル・ミステリー。



「本を守ろうとする猫の話」 夏川 草介 著

『神様のカルテ0』の続編ともいえる内容です。

主人公夏林太郎の祖父が経営していた「夏樹書店」。ある日林太郎は、書棚の奥で人間の言葉を話すトラネコと出会う。トラネコは、本を守るために林太郎の力を借りたいというのだ、という。

続編の「君を守ろうとする猫の話」も入っています。

このほかにもたくさんのお本が入りました。新着図書コーナーをチェック！

夏休みの読書について

長いお休みには、自分が好きで買った本だけでなく、図書室にある「読み応えのある本」にチャレンジしてみてください。たとえば…

漫画を読むことが多い人は、短編の小説やエッセイ、コラムなどを、

短編の小説を読むことが多い人は、いつもよりすこし厚い本を、

いつも同じ小説ばかり読んでいる人は、ドキュメンタリー、ノンフィクション、伝記などを借りて、手元に置きましょう。